

商社機能と製造業を融合した非鉄金属の総合企業を目指す

アルコニックス株式会社

(東証1部 3036)

(会社説明資料)

2017年9月





目次

アルコニックスについて

アルコニックスが取扱う非鉄金属、ビジネスフィールドや会社の特長についてご説明いたします。



3~15

アルコニックスの業績

直近の連結業績推移及び通期見通しについてご説明いたします。



16~19

アルコニックスの中期経営計画

最新中期経営計画についてご説明いたします。
-2017年3月期から2019年3月期までの3カ年計画-



M&A

事業投資

20~30

アルコニックスの株式状況について

株主構成及び配当金額予想についてご説明いたします。

当中間期(予想)	13円	年間配当	分割前の場合
当期末(予想)	13円	26円	22円

※2017年9月1日付けで、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施。

31~34

【参考資料】マーケットデータ

35~40

IR News

41~42



アルコニックスについて

事業概要



アルコニックスの概要

商号 アルコニックス株式会社
ALCONIX CORPORATION

創業 1981年7月

MBOによる独立 2001年4月

資本金 2,924百万円

代表者 代表取締役社長 正木 英逸

従業員数 連結1,148名、単体133名(2017年3月期)

グループ会社 34社(国内13社 海外21社)

連結売上高 2,019億円(2017年3月期)

連結経常利益 43億円(2017年3月期)

東京本社

東京都千代田区永田町2-11-1
山王パークタワー 12F



大阪支店

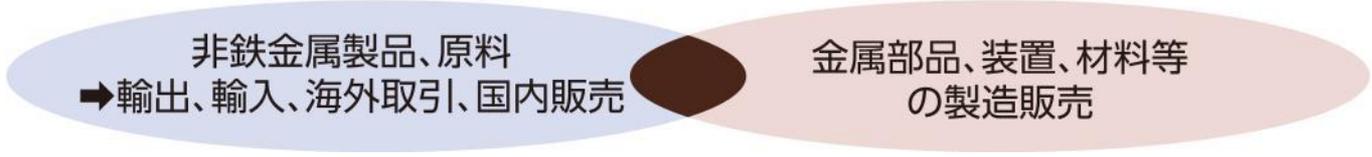
大阪市中央区北浜2-6-18
淀屋橋スクエア 14F

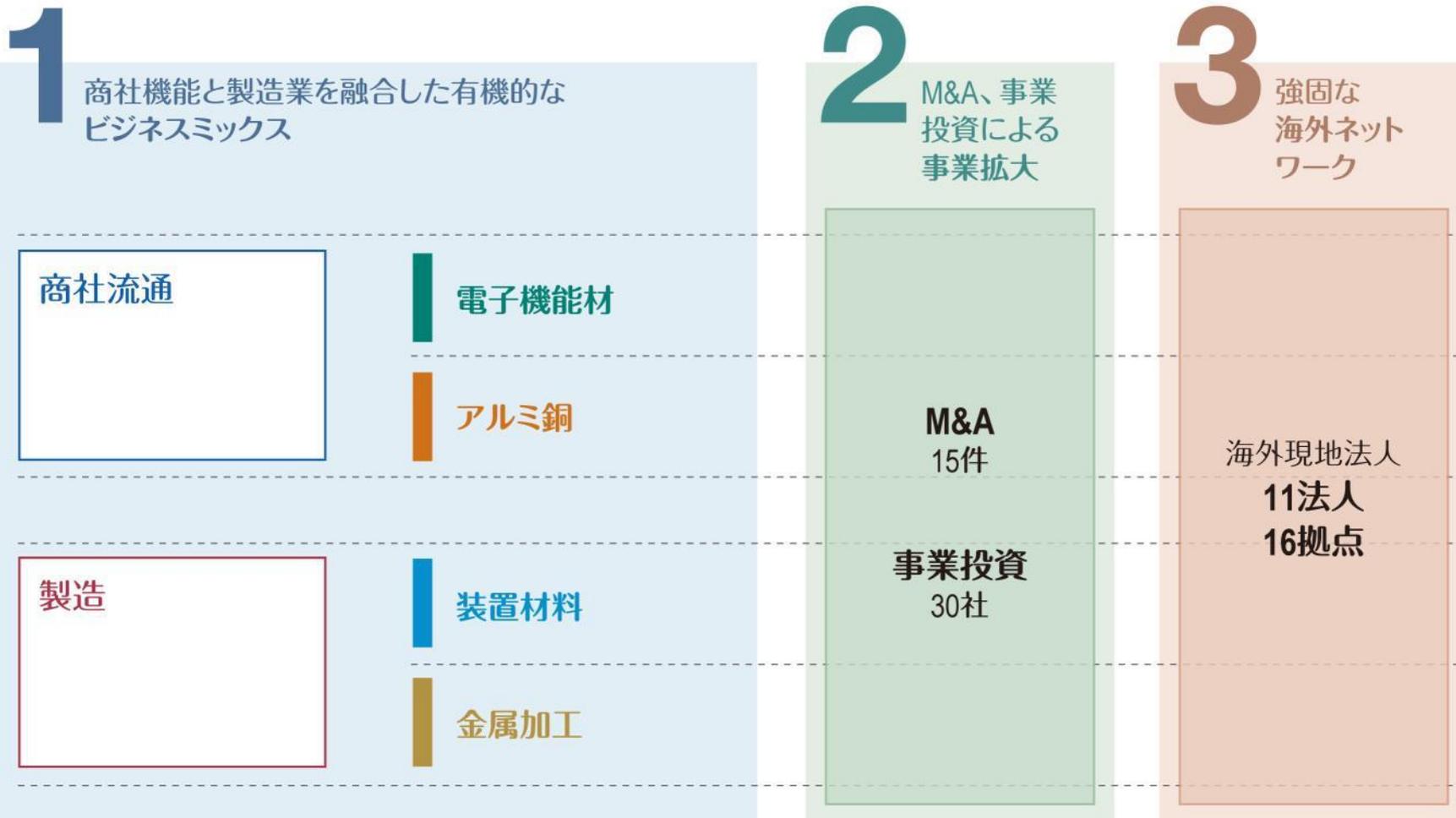




鉄にはない
優れた特性

商社機能 と 製造業 を融合した非鉄金属の総合企業







電子機能材

(数値は2017年3月期実績)

売上高占有率



28.0%

セグメント利益占有率

26.7%

グループ取扱品



チタンコイル



化合物半導体等
電子材料



レアアース細片



チタンスポンジ



レアアース化合物



レアアースインゴット

最終製品



自動車
(各種モーター用
磁石材、電池材料)



タブレット端末、
スマートフォン
(電子材料他)



液晶パネル(LCD)



風力発電(タービン)



チタン製品(熱交換機)



窓材(コーティング剤)

主な展開地域

国内、北米、
欧州、中国、
アジア

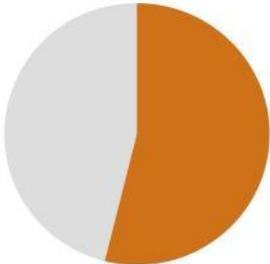
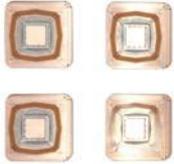
連結子会社

アドバンスト
マテリアル
ジャパン
海外法人



アルミ銅

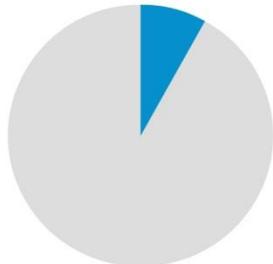
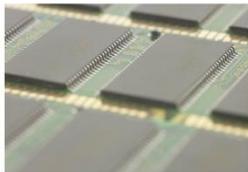
(数値は2017年3月期実績)

	グループ取扱品	最終製品	主な展開地域
<p>売上高占有率</p>  <p>59.3%</p>	 <p>アルミコイル</p>  <p>各種伸銅品</p>  <p>メタルスクラップ</p>  <p>アルミ合金塊</p>  <p>黄銅棒</p>	 <p>飛行機 (構造部材)</p>  <p>バイク (アルミフレーム等)</p>  <p>自動車(ボディ)</p>  <p>エアコン(空調用銅管)</p>  <p>リードフレーム (半導体用)</p>  <p>アルミ缶</p>	<p>国内、中国、アジア、欧州、中南米</p> <p>連結子会社</p> <p>アルコニックス 三伸、林金属、アルコニックス・三高、平和金属、アルミ銅センター 海外法人</p>



装置材料

(数値は2017年3月期実績)

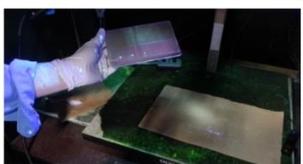
	グループ取扱品	最終製品	主な展開地域
<p>売上高占有率</p>  <p>8.2%</p>	 <p>めっき材料</p>  <p>溶接棒</p>  <p>非破壊検査 (装置)</p>  <p>非破壊検査 (探傷剤)</p>	 <p>自動車 (めっき、製造用金型肉盛 溶接、非破壊検査)</p>  <p>半導体 (プリントめっき)</p>  <p>発電所、プラント (非破壊検査)</p>  <p>鉄鋼 (マーキング)</p>  <p>建材(めっき)</p>	<p>国内、中国、 北米、欧州、 アジア</p> <p>連結子会社</p> <p>UNIVERTICAL 東海溶業 マークテック</p>



【めっき素材製造】
UNIVERTICAL



【非破壊検査装置製造
マーキング装置製造】
マークテック



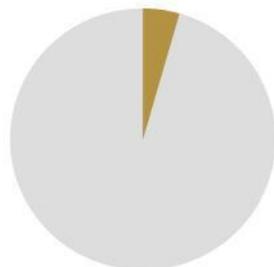
【溶接材料製造・
溶射加工】
東海溶業



金属加工

(数値は2017年3月期実績)

売上高占有率



4.5%

セグメント利益占有率

48.2%

グループ取扱品



精密加工部品



精密研削加工部品



高精度プレス部品



チップマウンター

最終製品



飛行機
(エンジン部材)



人工衛星
(通信部品)



スマホ・タブレット
(プリント基板)



自動車
(駆動部品、試作部品、車載部品)

主な展開地域

国内、中国、アジア

連結子会社

大川電機製作所
大羽精研
富士プレス

関連会社

ケイ・マック、
上海龍陽、
広東創富
FNA
MECHATRONICS
MEXICO



【精密切削加工】
大川電機製作所



【精密研削加工】
大羽精研



持分法
関連会社



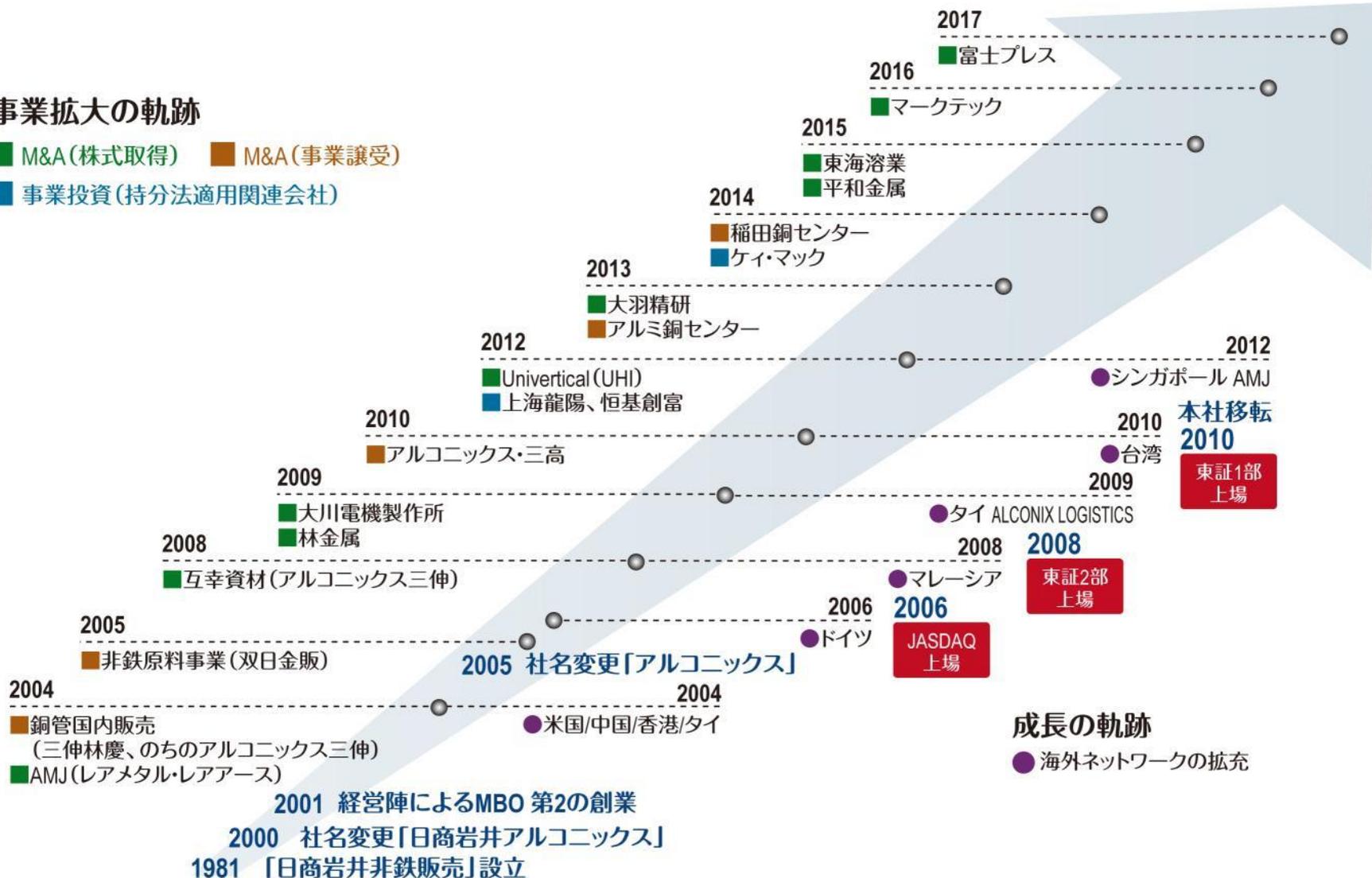
上海龍陽精密複合銅管
広東創富
FNA MECHATRONICS MEXICO



M&A、事業投資による事業拡大

事業拡大の軌跡

- M&A(株式取得) ■ M&A(事業譲受)
- 事業投資(持分法適用関連会社)





採算性を重視し、アルコニックスグループ独自の海外ネットワークを展開

(2017年5月時点)



● 海外現地法人及び海外駐在員事務所

- シカゴ (米国) : ALCONIX USA., INC.
- 香港 (中国) : ALCONIX HONGKONG CORP.,LTD.
- バンコク (タイ) : ALCONIX (THAILAND) LTD.
ALCONIX LOGISTICS (THAILAND) LTD.
- 上海 (中国) : ALCONIX (SHANGHAI) CORP.
- 北京 (中国) : ALCONIX (SHANGHAI) CORP.BEIJING BRANCH
- 深圳 (中国) : ALCONIX (SHANGHAI) CORP.SHENZHEN BRANCH
- 広州 (中国) : ALCONIX (SHANGHAI) CORP. GUANGZHOU BRANCH
- デュッセルドルフ (ドイツ) : ALCONIX EUROPE GMBH
- クアラルンプール (マレーシア) : ALCONIX (MALAYSIA) SDN.BHD.
- 台北 (台湾) : ALCONIX (TAIWAN) CORPORATION
- ハノイ (ベトナム) : ALCONIX VIETNAM CO.,LTD.

- モスクワ駐在員事務所 (ロシア) アドバンスト マテリアル ジャパン(株)
- 北京愛徳旺斯貿易有限公司 (中国) アドバンスト マテリアル ジャパン(株)
- ADVANCED MATERIAL TRADING PTE.LTD. (シンガポール)

▲ 海外委託先

- カイロ (エジプト)



アルコニックグループの主要取扱品 (構成比率)

※2017年3月期末を基準 (金額ベース)

めっき素材、精密研削加工部品、
精密切削加工部品、溶接材料、
非破壊検査装置、マーキング装置 等



製造製品
12.7%

アルミFIN、アルミ箔、管、条、
板、CAN材、アルミ合金塊、屑、
新塊、アルミ各種加工品 他



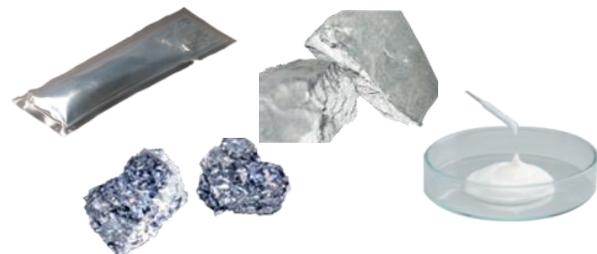
アルミ
23.8%

自動車用非鉄素材、
金属珪素、マグネシウム、亜鉛
バルブ部品、配管継手、建設材料



工業品その他
19.2%

チタン、タングステン、モリブデン、
レアアース、ガリウム、インジウム、
コバルト、アンチモン、カドミウム、
バリウム、電子材料、機能材料
その他



レアメタル
合計
19.7%

(うち、ニッケル
2.9%)

銅
21.8%

伸銅品 (管、板、条)
電気銅、半導体向け伸銅材料
黄銅棒、銅屑、電線
その他伸銅加工製品



ニッケル粉めっき用ニッケル地金
ニッケルフォーム 他



当社の主要取扱品目	シェア	シェア算出の対象
-----------	-----	----------

電子・機能材

金属チタン (チタンスポンジ)		日本の 輸入数量の 50% 強	チタン製品の原料となるチタンスポンジ及びチタンインゴットを含む
ニッケル粉末		日本の 輸入数量の 50%	ニッケル粉及びフレーク(ニッケル粉末で実行関税率表該当品のもの)
タングステン化合物		日本の 輸入数量の 30% 強	タングステン中間製品化合物 (金属タングステンは含まない)
チタン展伸材		日本の 輸出数量の 20% 弱	チタン及びその製品(くずを含む)
レアアース		日本の 輸入数量の 20%	希土類金属、イットリウム又はスカンジウムの無機又は有機の化合物及びこれらの金属の混合物の無機又は有機の化合物

非鉄原料

アルミ再生(合金)塊		日本の 輸入数量の 10% 弱	アルミニウムの塊
マグネ地金		日本の 輸入数量の 20% 強	マグネの塊、全重量99.8% 1Kg 670円以下
金属珪素		日本の 輸入数量の 10% 弱	けい素のうちその他のもの

需要と供給を結ぶ

オルガナイザー機能

川上(製造分野)から川下(問屋)まで
カバーする非鉄金属のエキスパート



キャリア豊富な
人材

有望企業に対する

多くのM&Aと事業投資の実績

15件のM&Aを成功させ、30社の広範な事業投資を持つ(MBO後の事業投資は17社)



ユニバーティカル
コーポレーション他



大羽精研株式会社

電子材料向けレアメタル・レアアースで

トップクラスの実績

金属チタン、ニッケル粉末、レアアース、
タングステン化合物、チタン展伸材では
高い市場シェアを確保



独自の強固な

海外ネットワークを持つ

海外法人11法人、16拠点
独自の海外ネットワークを形成



海外：11法人
16拠点

連結人員

1,500人弱の規模

年間売上

約**2,000**億円

連結子会社 関連会社

34社 **6**社

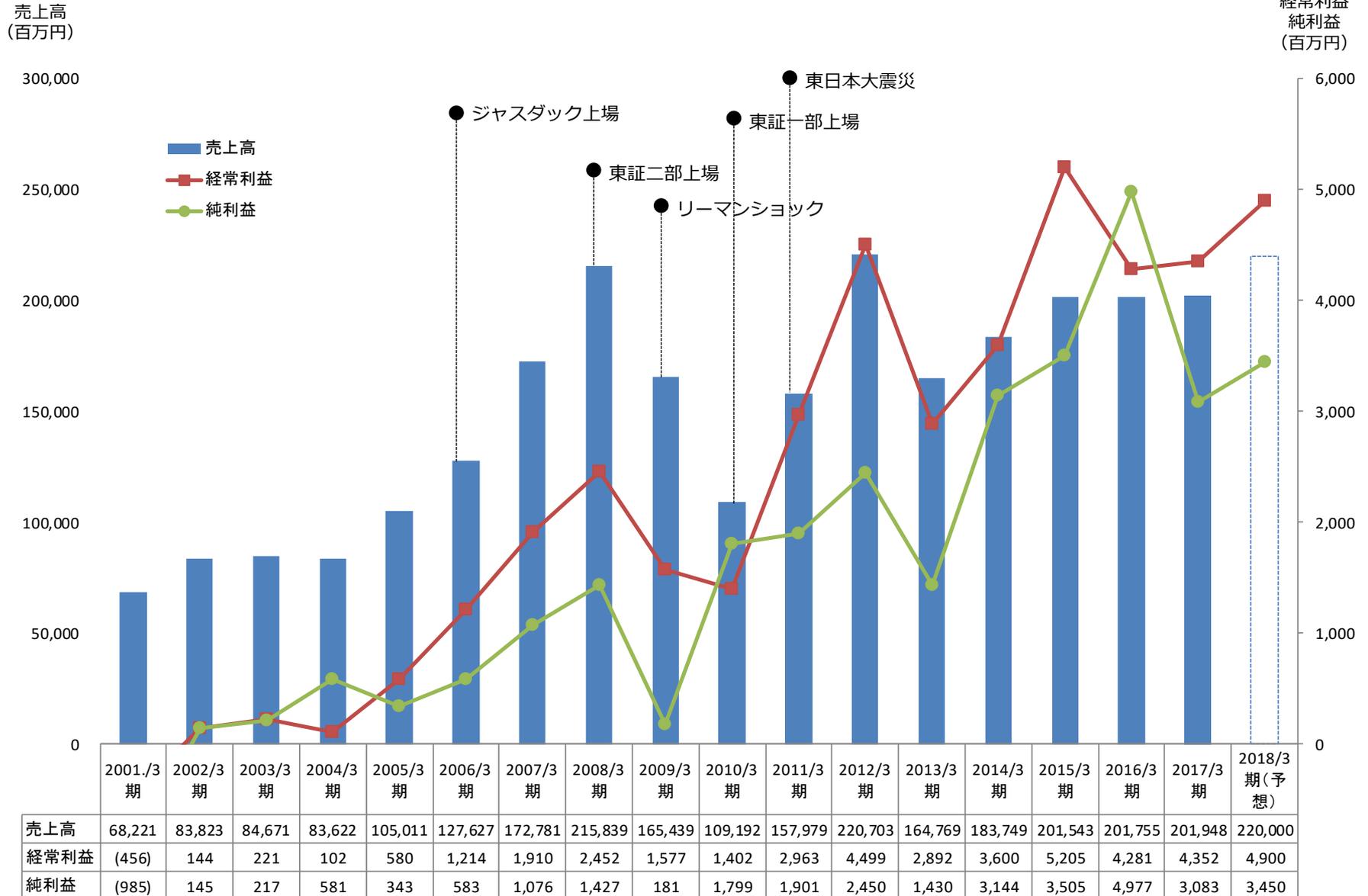


業績推移（連結）

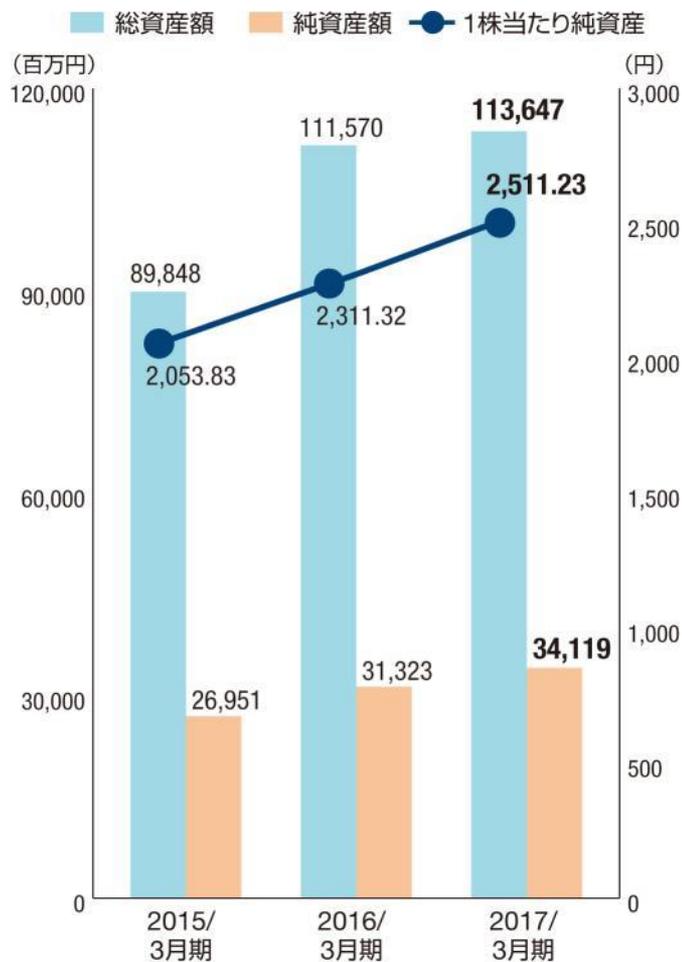
「弊社ホームページ上で決算に関する動画や
社長トップインタビューを配信しております。
詳細についてはP42をご覧ください。」



業績の推移 (連結 P/L)

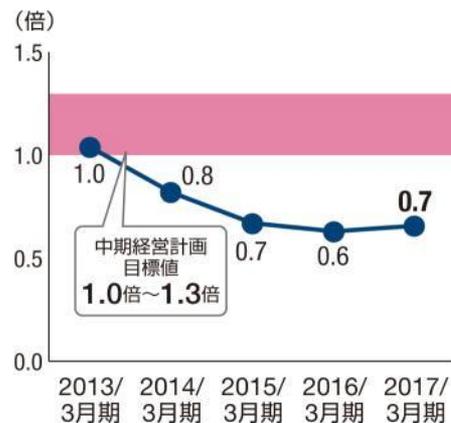


総資産額、純資産額

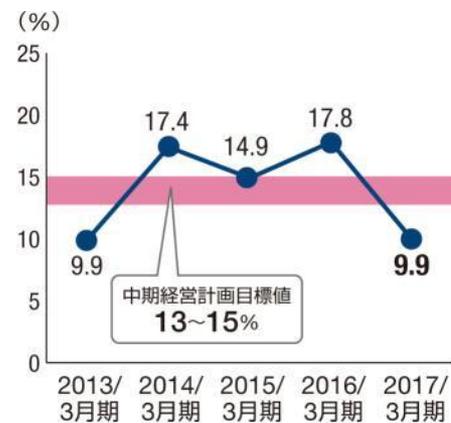


中計目標数値

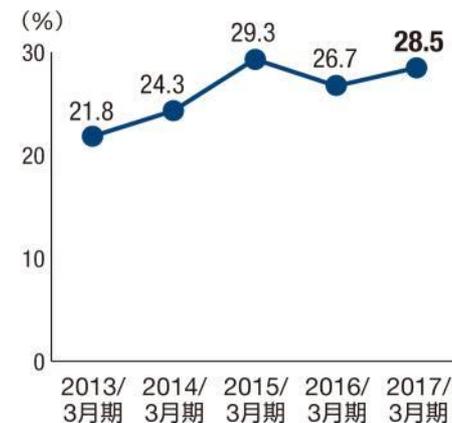
NET DELレシオ



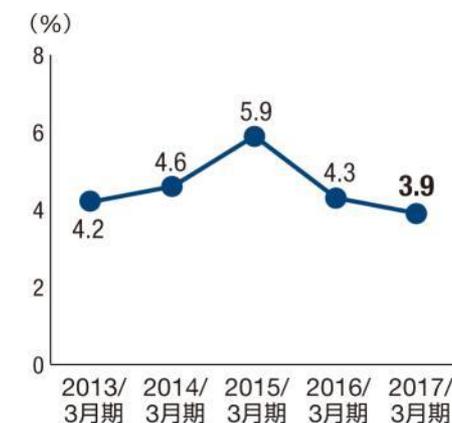
ROE



自己資本比率



ROA (経常利益ベース)



直近の実績について (第1四半期)

売上高



営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益/一株当たり純利益



(注)当社は2017年9月1日付で、当社普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施。



中期経営計画

2018年3月期～2020年3月期の3カ年計画

事業環境の変化に迅速に対応し、よりスピーディーな意思決定を図るため
期間を3年とする1年毎更新のローリング方式を採用



アルコニックスグループのビジョン

商社機能と製造業を融合した非鉄金属の総合企業を目指す

経営方針

- **M&A／新規事業投資** 業容拡大と商流開拓による持続的成長
- **電子・機能材** 日本が世界をリードする分野での更なる拡大
- **アルミ・銅** アルコニックスのルーツである商流の維持拡大
- **リサイクル事業** 環境分野への対応強化
- **海外展開／地場取引・三国間取引** 海外ネットワークの拡充

5つのアクションプラン

営業収益力の強化

「商社機能と製造業のシナジー」
「電子材料分野」 「海外事業展開」

投資案件の推進

「製造業を中心としたM&A」
「事業投融資」 「設備投資」

財務体質の強化

「自己資本比率向上」
「資金流動性の確保と
資金コストの低減」

人的資源の強化

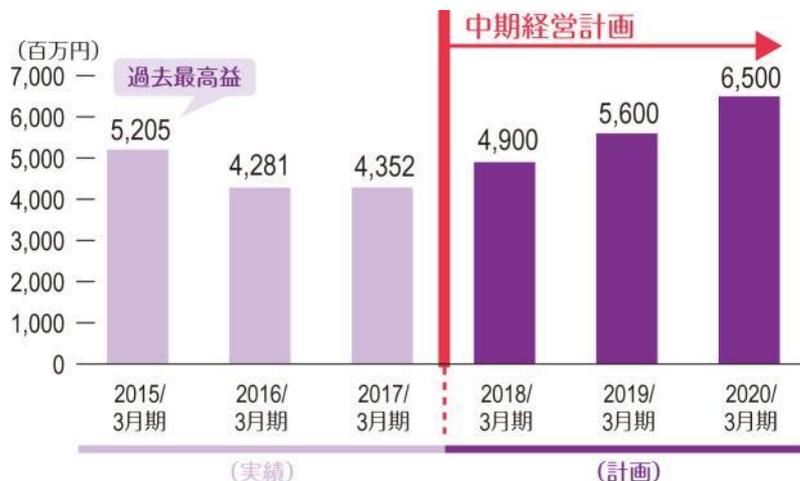
「優秀な人材の確保と
人材育成」

インフラ整備及び
内部統制の充実・強化

数値目標 (最終年度：2020年3月末)

利益目標

連結経常利益：65億円超 (2020年3月期)



親会社株主に帰属する：47億円超 (2020年3月期)
連結当期純利益



経営指標

ROE：13～15%程度 (2020年3月期)



NET DER：1.0～1.3倍程度 (2020年3月期)



投融资計画

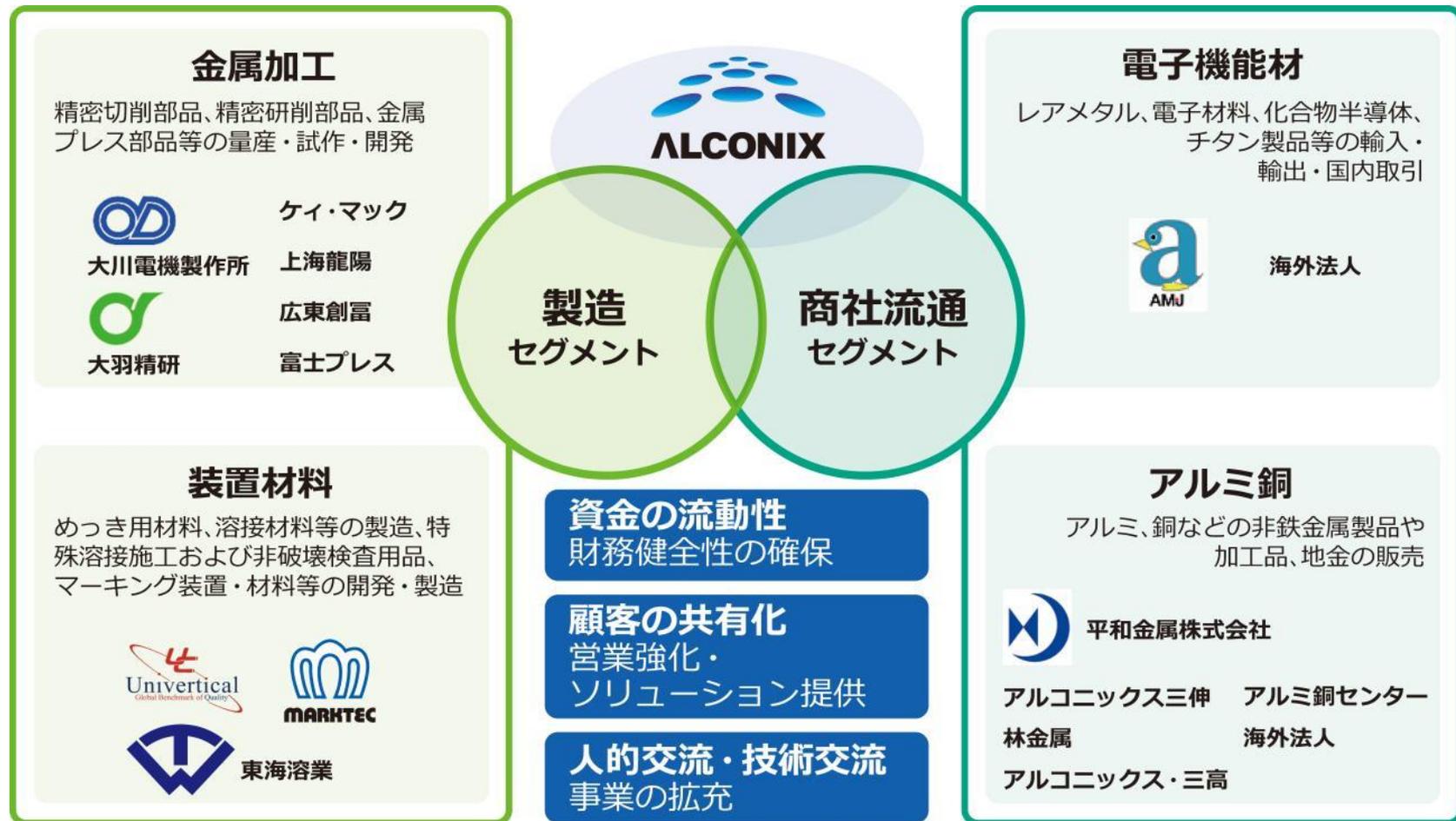
3年間で250億円

対象：M&A／事業投資／設備投資純増額 (設備投資－償却額)

▶詳しくは P28投資案件の推進

点から面へ

当社と、それぞれ単独で存在していた連結子会社を「面と面」で結び有機的な組織を構築することで生み出される「商社流通と製造業のシナジー」により営業収益力の飛躍的なアップを目指す。



アルコニックス本体の電子機能材事業と連結子会社AMJがビジネス展開

原料（レアメタル・レアアース）から製品（電子材料・機能性材料）までを網羅したビジネスを展開。
自動車、家電、半導体・IT分野と幅広い分野においてコア素材から環境対応材料まで多目的で使用される。

当社グループ取扱品

原料(輸入)

レアメタル
(30種類)



チタン/タングステン/モリブデン
インジウム 他

レアアース
(17種類)



ネオジウム/ディスプロシウム
ランタン 他

材料(輸出・国内)

結晶材料



半導体材料



液晶・電池材料



その他金属粉末、機能材等



レアアース
レアメタル

電池材料
液晶材料

液晶材料
化合物半導体

チタン
レアメタル合金

機能材料
レアメタル

自動車



環境性能向上

エレクトロニクス化進展

スマホ・タブレット

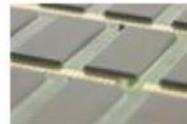


通信機能向上

高解像度

容量アップ

半導体・IT



大容量・高速化

自動車・家電の
エレクトロニクス部品

航空機



軽量化・燃費向上

高強度・耐熱
耐摩耗性能アップ

LED、機能性インク



省エネルギー

温暖化防止

その他環境性能向上

アルコニックス本体、連結子会社のAMJ、及び海外法人がエリア拡大推進

海外ネットワーク



1 地場取引拡大

現地進出の日系企業及び
現地企業との地場取引拡大

上海法人の下に北京、広州、深センに支店
を設置し中国全土の販売網拡充

2 三国間ビジネスを拡大

海外店間の取引拡大

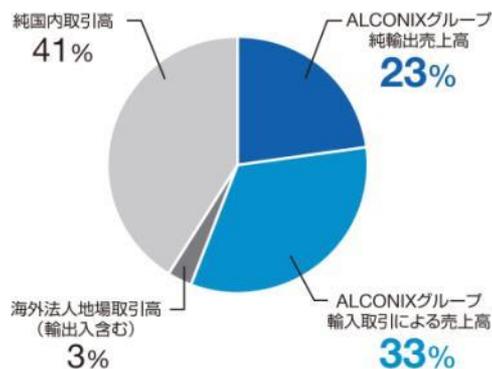
AMJのシンガポール法人がレアメタルを中心に海外取引を展開



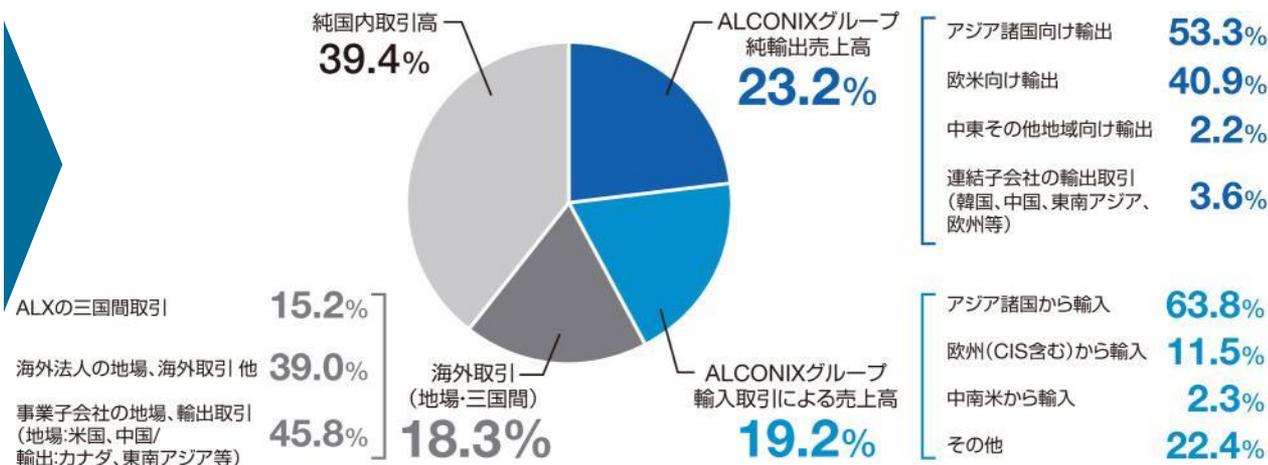
3 海外拠点の拡大を展開

海外ネットワーク充実のためメキシコ・
インドネシア・インドなどに拠点設立を検討

形態別売上高比率 (連結 2011年3月期)



形態別売上高比率 (連結 2017年3月期)



短期間での業容拡大に有効なM&A、新たな商流を創出するための金属加工・販売事業等への事業投資及びリサイクルを含む資源確保のための投資を重点施策として推進。

M&Aで獲得した主要連結子会社



●アドバンストマテリアルジャパン
(商社流通 - 電子機能材
2004年1月)



●平和金属
(商社流通 - アルミ銅
2015年10月)



●UNIVERTICAL HOLDINGS INC.
(製造 - 装置材料
2012年12月)



●大羽精研
(製造 - 金属加工 2013年5月)

M&A実績15件 (製造に対するM&A6件 商社流通に対するM&A9件)

主要関係会社 (持分法適用関連会社他)

●ケイ・マック (20%出資 2014年4月)

製造 - 金属加工事業

製造製品: 住宅建設資材、自動車関連部品 等

●広東創富金属制造有限公司 (35%出資 2012年9月)

製造 - 金属加工事業

製造製品: 自動車、家電向け金属加工部品の製造

その他国内外において29件に出資、当社の関連会社、出資会社として事業の創出、業容拡大に貢献

* ()の年月は連結子会社化した年、出資した年

2017年4月5日付で富士プレスの株式取得完了 / 当第1四半期への貢献

当第1四半期より連結子会社化した株式会社富士プレス（製造－金属加工セグメント）国内外における自動車向け需要の増加を背景に精密プレス部品の出荷が堅調に推移。当第1四半期実績に貢献するとともに、当社及びグループ会社と同社との協業に向けた取り組みも活発化。

強み その1：自動車メーカーの厳格な納期管理に対応した生産管理体制を確立

⇒自動車用電磁バルブ部品、中小ブラケット等を金型設計から、
製造加工、処理、検査まで一貫して行う生産体制

強み その2：冷間鍛造、精密絞り加工技術による高精度・高難度加工

⇒主要取引先である国内大手自動車部品メーカーから高く評価されており、
業績は堅調に推移

【会社概要】

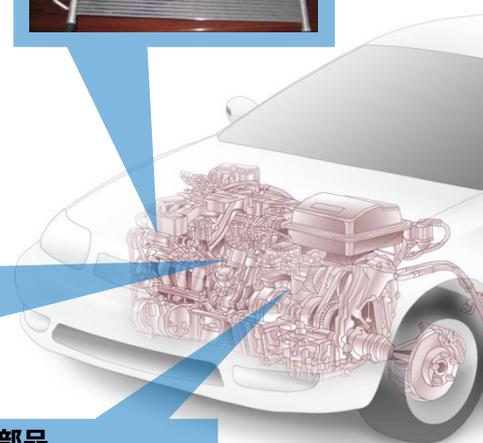
商号：株式会社富士プレス (<http://www.fuji-press.co.jp>)
代表者：安藤 正敏
所在地：愛知県大府市（本店及び工場）/福岡県北九州市（工場）
海外展開（中国、メキシコに合併事業）
事業内容：自動車用プレス加工部品及び金型の製造及び販売



本社事務所



生産設備（300トン サーボプレス）



- 3年間でM&Aを中心に**250億円の投融資を計画**
- 投下資本経常利益率（ROIC）：**10%を目標**

2017年度計画

M&A

- ・富士プレスのM&A（2017/4/5株式取得 PMIの開始）
- ・製造業への出資、M&Aの推進
- ・製造子会社の業容拡大に寄与する製造子会社自身による中小製造業へのM&Aも推進
- ・その他M&Aの推進（川上：製造業以外にリサイクルセンター等を含む 川中：商社 川下：問屋、小売り）

事業投資 (投融資)

- ・海外でのベースメタル、レアメタルのリサイクル事業及びレアアースの資源開発事業への投融資
- ・中国における自動車向けアルミブランキング製品販売合併会社の設立及び出資

設備投資

- ・製造子会社における設備拡張投資

富士プレス



大羽精研



UNIVERTICAL HOLDINGS INC.



当社のM&Aの目的とその取組・効果

● オルガナイザーとしての役割

製造業を中心としたM&Aを企画・実行し、オルガナイザーとして有機的にグループ統合。
当社の営業力とグローバルネットワークをフルに活用し、新たな商流を開拓。

● 製造業の再編

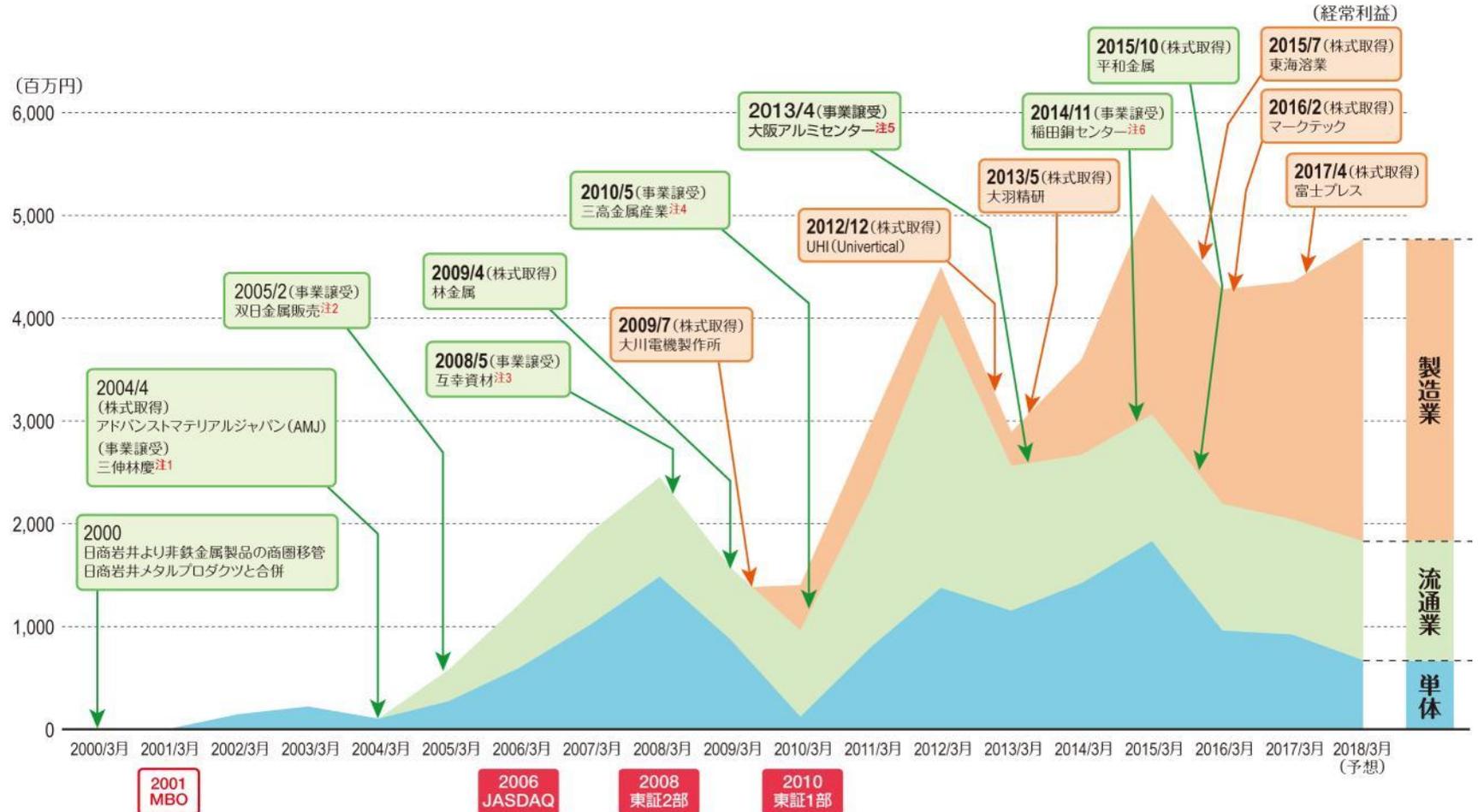
日本の優れた技術力を持つ製造業を再編し、ニッチでありながら競争力のある製品を成長製品としてグローバルマーケットで拡販。

● 継承した事業による連結業績への貢献

M&Aにより生産設備・社員を全て継承し、アルコニックスのネットワーク並びにリソースと自社独自の優位性を融合し新たな生産活動を展開することにより連結収益に貢献。



経常利益でみる事業構造の変化と成長（製造業が経常利益の過半を占める）



(注) 1 三伸林慶は事業譲受後、当社の三伸林慶部としてスタート。

その後2008年に分社化し、アルコニックス三伸を設立

2 双日金属販売は当社非鉄原料本部材料部としてスタート。

3 互幸資材はアルコニックス三伸によるM&Aで札幌支店互幸資材営業部として設立。

4 三高金属産業の事業譲受後、当社が設立したアルコニックス・三高に承継

5 大阪アルミセンターは2014年に「アルミ銅センター」に社名変更

6 稲田銅センターは、アルミ銅センターの北九州支店として営業開始

7 「製造業M&A」には持分法適用関連会社を含む。

8 2001/3月は単体のみで経常損失

株式状況

基本方針

内部留保と配当の最適なバランスを目指す

将来の事業展開と経営基盤強化のため安定的で継続的な株主還元

株式分割

2017年9月1日付けで、当社普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施決定

投資単位当たりの金額を引き下げて株式の流動性を高め、より投資しやすい環境を整えることで投資家層の拡大を図る

2018年3月期配当予想

2017年9月 (中間配当) **13**円 + 2018年3月末 (期末配当予想) **13**円 = 年間 **26**円

※株式分割に伴い2018年3月期年間配当予想を株式分割後1株当たり**22円**から**26円**に変更し、**4円の増配**を実施
(株式分割を考慮しない場合の1株当たり配当額は**44円**から**52円**とし、**実質8円の増配**)

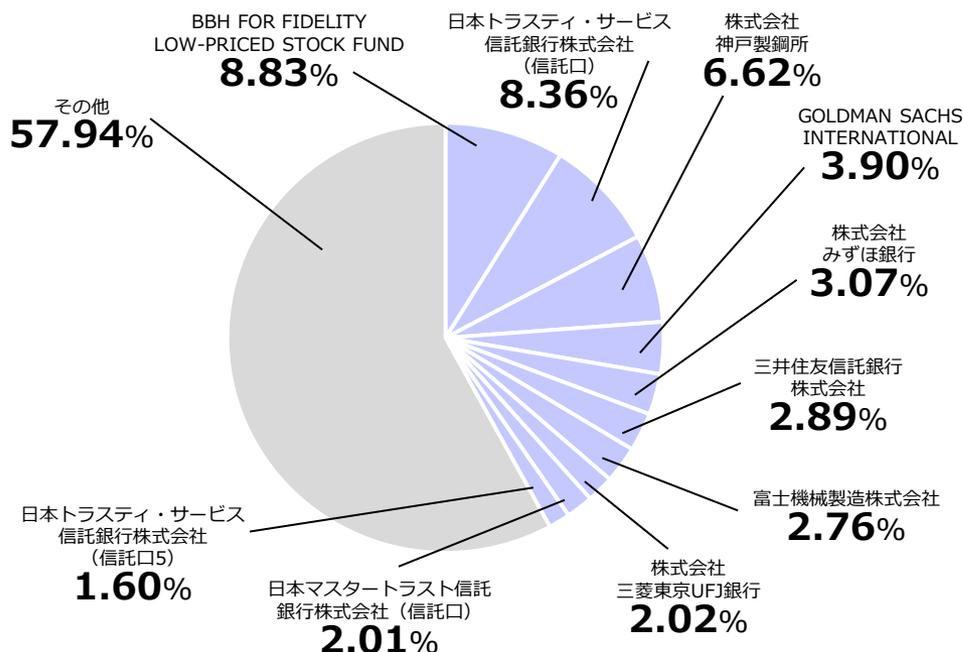
株主構成

(2017年3月31日現在)

区分	株式数	比率	株主数	比率
金融機関	3,515,800	27.27%	27	1.02%
金融商品取引業者	539,707	4.19%	29	1.09%
その他法人	2,866,660	22.23%	59	2.22%
外国法人	2,735,992	21.22%	79	2.97%
個人その他	3,235,428	25.09%	2,463	92.66%
自己名義株式	413	0.00%	1	0.04%
合計	12,894,000	100.00%	2,658	100.00%

(2017年3月31日現在)

区分	株式数	比率
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	1,138,400	8.83%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,078,100	8.36%
株式会社神戸製鋼所	853,600	6.62%
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	502,620	3.90%
株式会社みずほ銀行	396,000	3.07%
三井住友信託銀行株式会社	372,000	2.89%
富士機械製造株式会社	356,400	2.76%
株式会社三菱東京UFJ銀行	260,000	2.02%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	259,600	2.01%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	206,100	1.60%
その他	7,471,180	57.94%
合計	12,894,000	100.00%





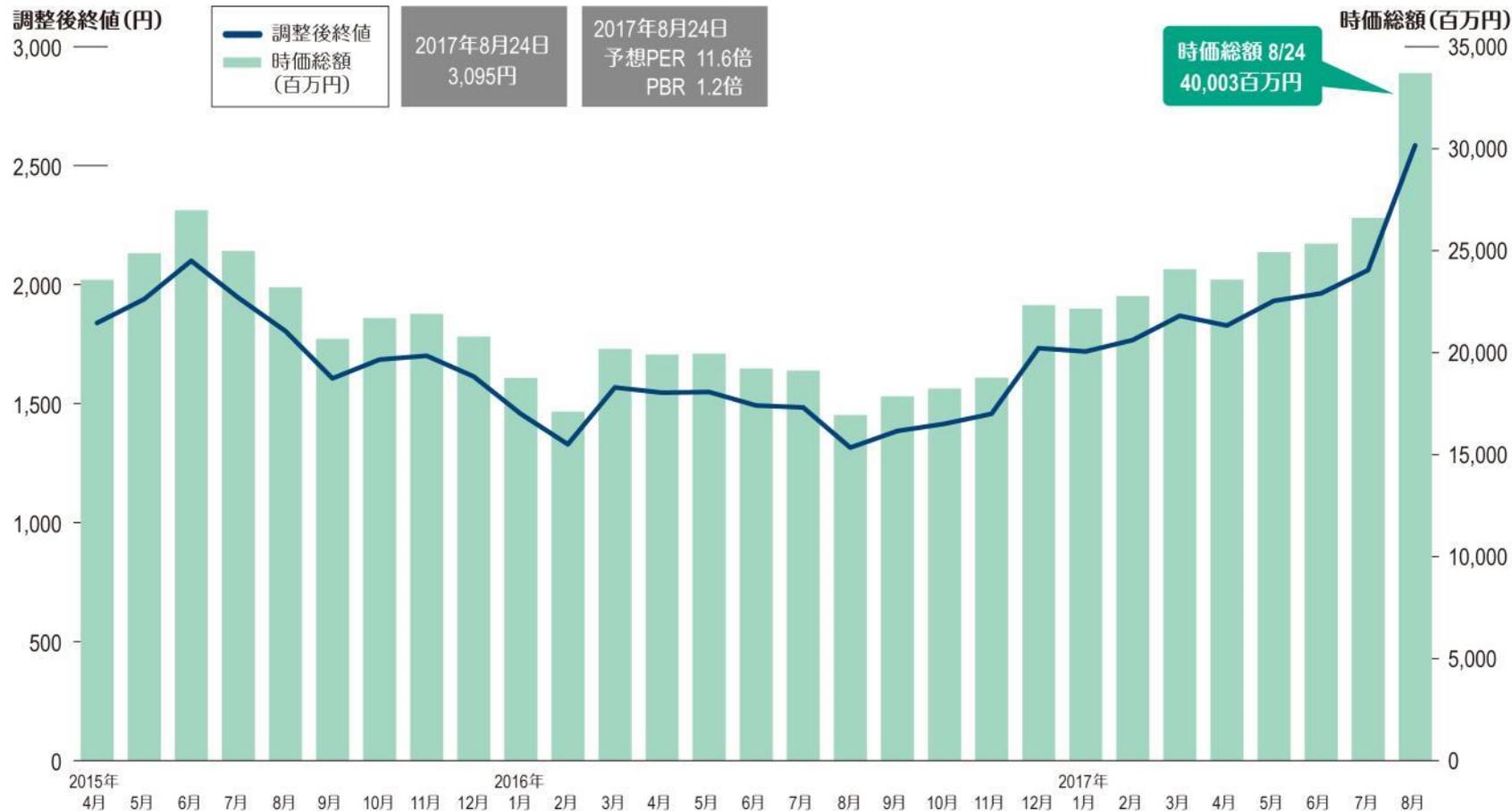
株主還元 - 配当額、配当性向の推移



配当性向(連結)



株価 2015年4月1日～2017年8月24日



(注)時価総額については月平均の金額を表示。



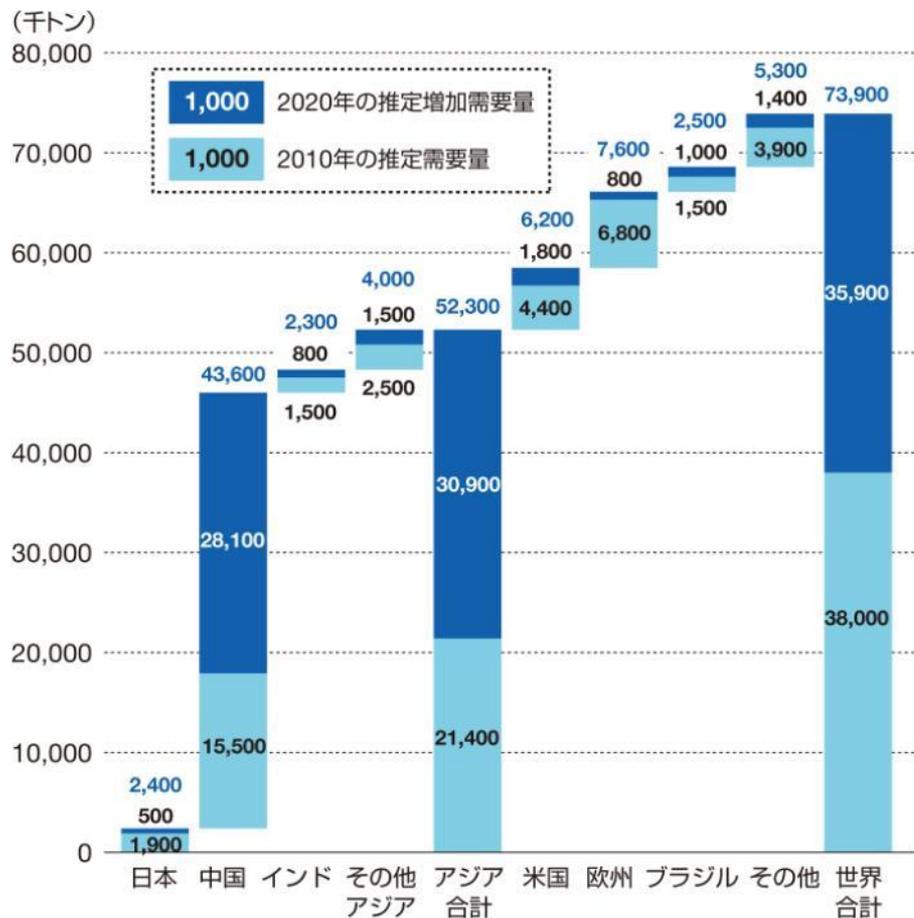
非鉄金属を取巻く環境

マーケットデータ（資料）



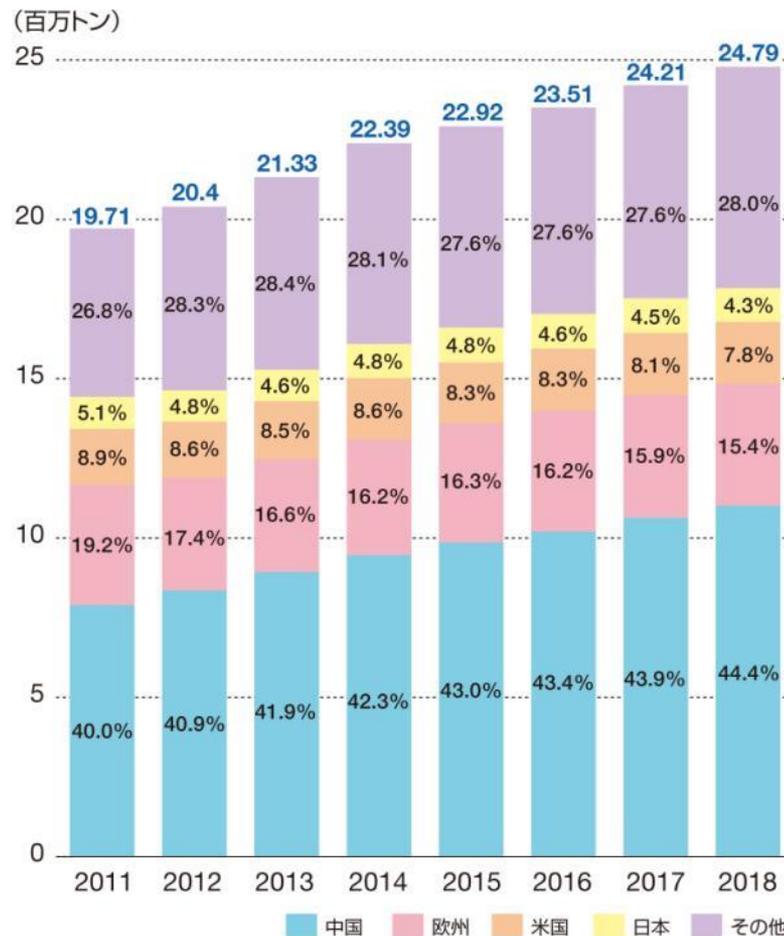
アルミ・銅の需要は、世界的には今後も増加傾向

【アルミの世界需要予測（2010～2020年）】



(出所) 1. 出所:日本アルミニウム協会
 2. その他アジアはASEAN及び韓国

【銅の世界需要予測（2011～2018年）】



出典：ICSG

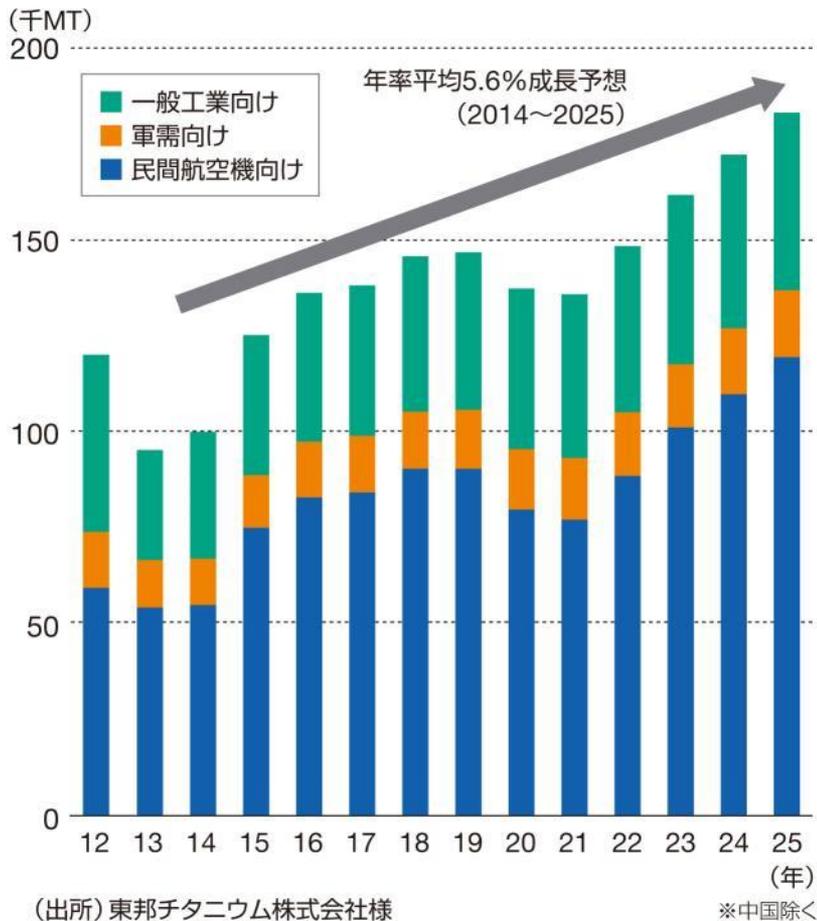


レアメタルの需要推移

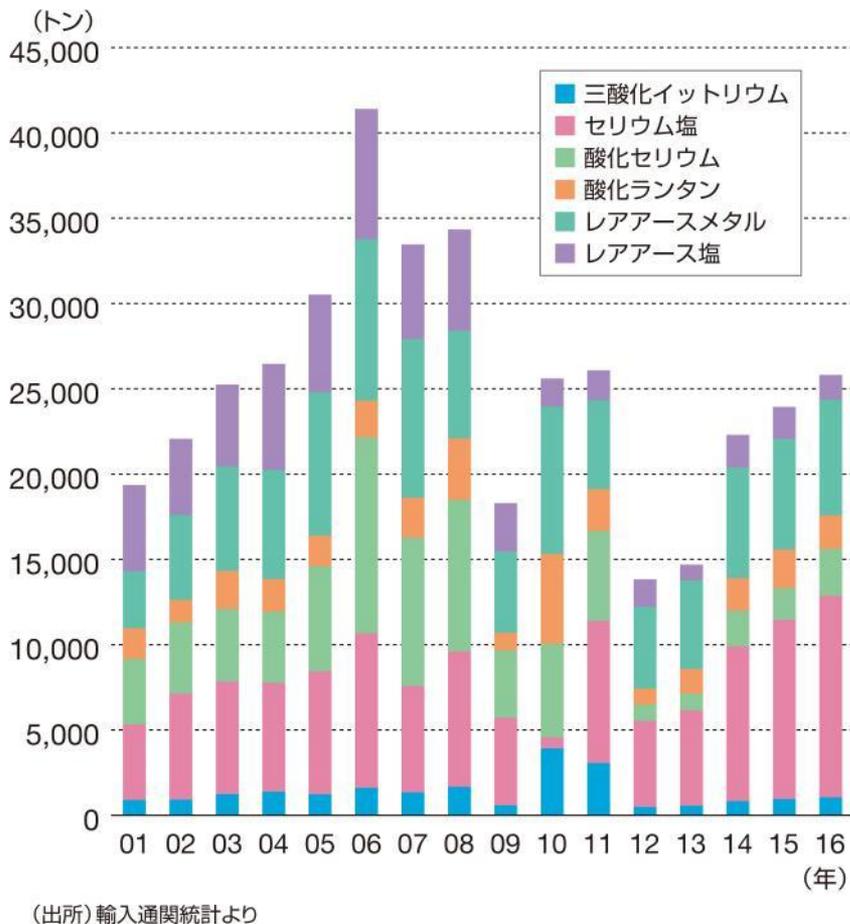
【参考資料】マーケットデータ

【チタンスポンジ中長期需要予測】

航空機向けを中心に堅調な伸びを予測



【レアアースの輸入推移】

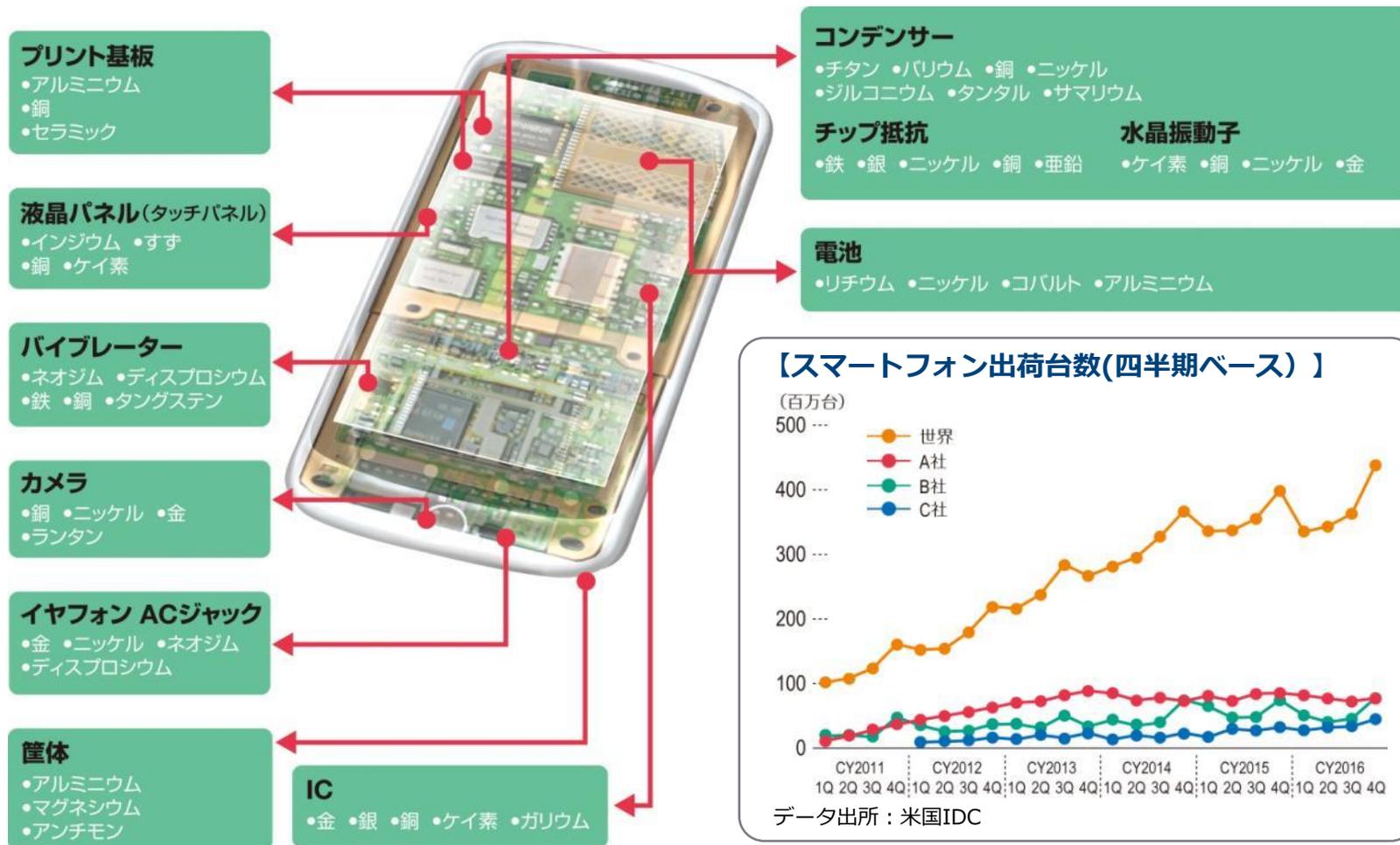




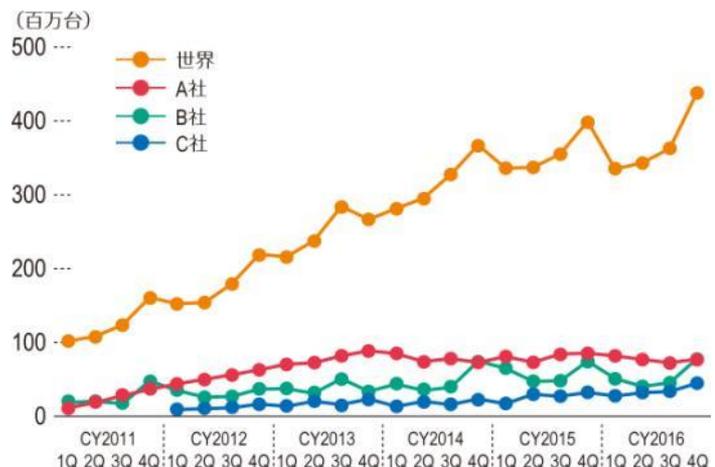
非鉄金属の活躍が拡大するスマートフォン

【参考資料】マーケットデータ

新興国を中心に需要が回復基調、また高品位・高機能機種も引き続き増加



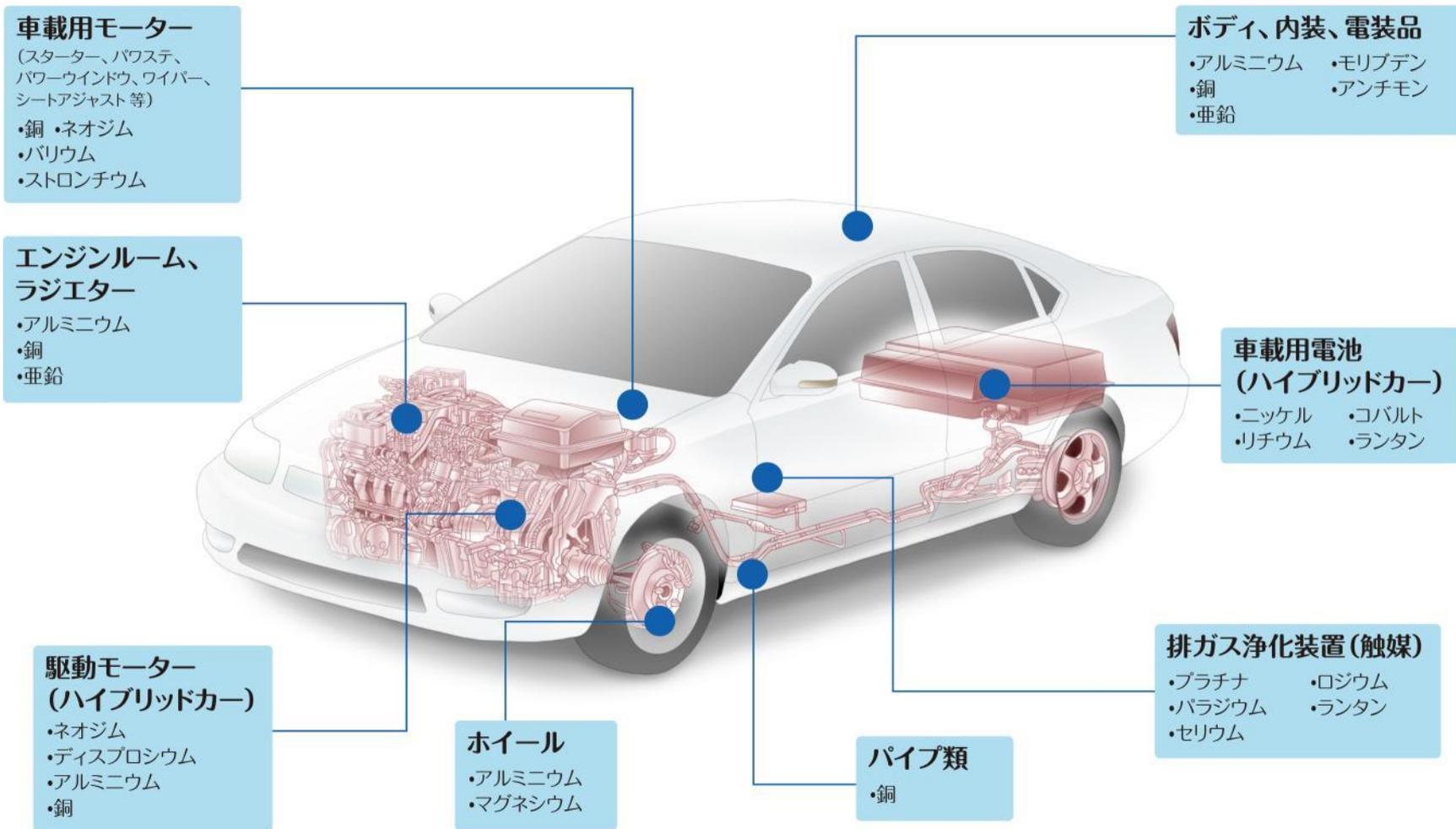
【スマートフォン出荷台数(四半期ベース)】





躍進するHV、EV車の販売推移

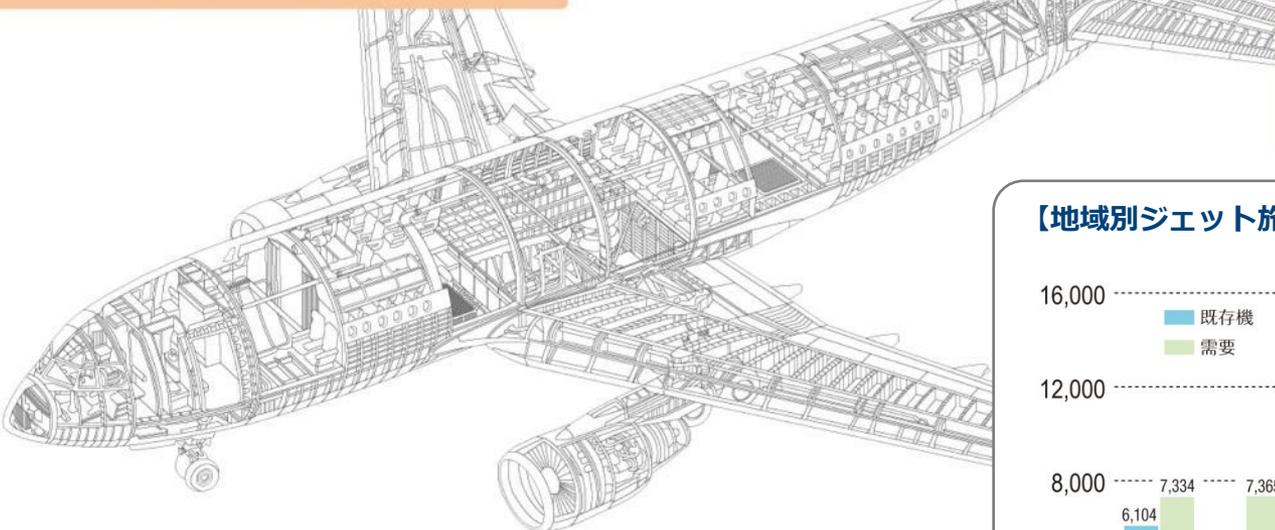
【参考資料】マーケットデータ



今後20年で世界の民間航空機需要が2倍に拡大見込

胴体・主翼・尾翼 (航空機外板、構造部分)

- アルミニウム合金 (アルミ、銅、マグネシウム、リチウム他) (航空機外板、構造部材 航空機全体の50%以上)
- ステンレス (クロム・ニッケル 構造部材に使用)
- マグネシウム、チタン (継手、ボルト、接合部分)
- ニッケル、亜鉛 (機体のめっき)



エンジン

氷点下の低音部から千数度の高温に耐えるため多くの高機能非鉄金属の合金が使用される。

- チタン合金 (ファン、エンジンフレーム、ケース、ブレード等) (合金組成にバナジウム、モリブデン、ジルコン等)
 - ニッケル合金 (タービン部分 圧縮機以降の高温部分に特に使用) (合金組成にクロム、タンタル、モリブデン、ニオブ、タングステン等)
- ※チタン・ニッケルでエンジン全体の40%以上

ランディングギア (脚部分)

- ニッケル • クロム • モリブデン
- ※最高強度を要する部品として上記を混合したニッケル・クロムモリブデン鋼が使用。

航空機はアルミニウム、チタンを中心にレアメタル・レアアースを含む多くの非鉄金属が使用されている。

【地域別ジェット旅客機運航機数および需要予測】



データ出所：日本航空機開発協会



●米国の有力誌「BEST CEOs（ベスト最高経営者）」の上位に選出



2017年5月に世界的に著名な米国金融専門誌である Institutional Investor 誌が発表した「2017All-Japan Executive Team Rankings（ベストIR 企業ランキング）」におけるBasic Materials /Metals 業種の「BEST CEOs（ベスト最高経営者）」にて、当社代表取締役社長 正木 英逸が第2位に選出。

本調査は年に1度、世界の機関投資家・証券アナリスト（バイサイド及びセルサイド）の投票結果をもとに優れたIR活動を行う日本の上場企業を選出するものであり、2017年度は機関投資家・証券アナリスト1,007名が投票に参加。

今回の結果は、社長が自らIR活動に積極的に参加し、当社グループについて率直で明快な説明を継続的に行ってきたことを評価いただいたものと考えております。

今回の上位選出を励みに、当社はIR活動の充実に取り組んでまいります。

（インスティテューショナルインベスター誌公式サイト）

<http://www.institutionalinvestor.com/>

<http://www.institutionalinvestor.com/Research/6929/Best-CEOs.html#.WUxl00-wfcs>

当期の個人投資家様向け説明会の開催予定

2017年

2018年

9月初旬
神戸

9月中旬
札幌

11月下旬
名古屋

2月下旬
東京、大阪

3月初旬
広島



IR News - ②

- アルコニックス公式ホームページをリニューアルいたします。是非ご訪問ください。

<http://www.alconix.com/jp/index.html>



投資家情報

財務状況等の内容をグラフにて分かりやすく説明しております。また各種資料、決算短信、有価証券報告書等もダウンロードができます。



<http://www.alconix.com/jp/ir/index.html>

決算動画配信

各四半期ごとに弊社社長による決算及び見通しをトップインタビュー形式で解説するとともに、アナウンサーによる決算ハイライト速報を配信しています。



- アルコニックスグループ会社の公開ホームページは下記のとおりです。

アドバンスト マテリアル
ジャパン株式会社
<http://www.amjc.co.jp/>



株式会社大川電機製作所
<http://www.odsinc.co.jp/>



アルコニックス・三高株式会社
<http://alconix-mitaka.com>



UNIVERTICAL HOLDINGS
<http://univertical.com>



●IRに関するお問い合わせ 電子メール : ir@alconix.com

電話 : 03-3596-7400



ご清聴ありがとうございました

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。